



糠内学園通信

No. 5
2026.1.30

*糠内学園：糠内中学校・糠内小学校・明倫小学校

糠内学園全体会・部会開催

1月15日（木）
糠内中学校

糠内中学校を会場に「第2回全体会・一斉部会」が開催されました。今年度の各種事業を教職員全体で振り返り、次年度の学園経営及び事業計画について話し合いました。各部会では、今年度の成果と課題を整理し、次年度に向けた改善策等についてまとめました。

学ぶ力部会



▶研究授業交流と職員研修

- 研究授業：各校の授業の様子を相互に知ることができたことが成果。次年度は、幕複公開研の会場校か否かで日程を調整し、より多くの教職員が参加できる体制を整える。
- 全体研修：重点課題に基づいた研修テーマを設定し、夏季休業中に実施できるよう前年度中に候補をリストアップする。

▶小中一貫カリキュラムと糠内スタンダード

- カリキュラム刷新：中学校の教科書更新に合わせ、内容を最新の状態にアップデートした。今後は各校に周知する。
- 糠内スタンダード：毎日の目標設定や学期末の振り返りに活用し定着を図った。4～5月に周知し、年度末に見直しを図っていく。

つながる力部会



▶総合学習交流

- 各校の取組の成果を共有することができた。小学生にとって中学生の発表会に参加することで、進学後の見通しや発表スキルを学ぶ機会となっている。
- 他校の取組を知る機会になり、それぞれの児童生徒にとって有意義だった。

▶他地域交流

- 発表内容が重なる危惧があるので、担任となったときは打合せが事前が必要。
- 今後も続くのであれば、発表内容（テーマ）の整理も必要。

▶学級通信交流

- 各校の日常や担任の思いを知る一助となった。
- 「見やすく、負担の少ない」方法へ改善していく。

つながる
力部会

第2回諸鈍小中学校との交流

1月21日（水）糠内中

今回は、糠内中13名（全校）・糠内小7名（高学年）・明倫小4名（4・6年生）と諸鈍小中12名で交流しました。GoogleMeetを活用し、北の大地と南の島をオンラインで結び、お互いの暮らしや自然・歴史について紹介し交流しました。画面越しではありますが、和気あいあいとした雰囲気の中で行われ、各校の発表を通じてお互いの地域について知り、理解を深めることができました。

各校の発表内容

- 糠内小学校：「幕別町の魅力（パークゴルフ、いも、牛乳、獅子舞）」
- 明倫小学校：「十勝の行事（花火、冬の催し等）」
- 糠内中学校：「糠内中学校の校舎めぐり」
- 諸鈍小中学校：「諸鈍シバヤクイズ、歌や三味線」



諸鈍シバヤとは

加計呂麻島の瀬戸内町諸鈍で伝承されている民俗芸能です。源平の戦いに敗れて落ちのびて来た平資盛(たいらのすけもり)一行が、土地の人々と交流を深めるために伝えたのが始まりと伝承されています。出演者は全員男性で構成され、手製のカビディラという紙面と、陣笠風(じんがさふう)の笠をかぶり、囃子(はやし)と三味線(しゃみ)を担当するリユ-テの伴奏によって演じます。



【諸鈍小中学校 学校紹介】

鹿児島県奄美大島のさらに南に浮かぶ加計呂麻島、その南東側に位置する諸鈍小中学校。すぐそばには観光地としても有名なデイゴ並木や、諸鈍シバヤの踊られる大屯神社がある。温暖な気候と、透き通った海、そして人情味あふれる地域性を特徴としたこの諸鈍地域に根ざし、愛される学校である。

～諸鈍小中学校ホームページより～

